

2022-2026年度 中期事業計画

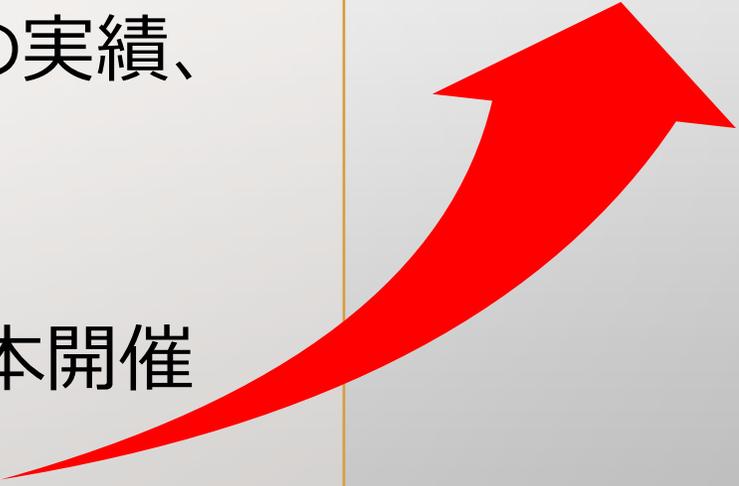
2022年1月25日

公益財団法人フォーリン・プレスセンター

0 1 FPCJの対応方針

- FPCJの「強み」を活かし、「機会」を捉えて、躍進を目指します。

FPCJの「強み」「機会」

- 外国メディア取材支援団体として唯一無二の存在
 - 外国メディアと日本との橋渡し役としての長年の実績、信頼と国内外のネットワーク
 - 独立・中立的な非営利団体
 - 2025大阪・関西万博・2023年G7サミットの日本開催
 - 課題先進国日本の成功と教訓の発信
 - オンライン、5Gを活用した新規事業の創出・拡大の機運
- 

02 中期計画：ビジョン（目指すべき姿）

- 2026年までに以下のビジョンの達成を目指します。

外国メディアを通じた日本の情報発信のプロとして専門性を高め、新しいものに常にチャレンジし、外国メディア事業でOnly Oneを目指す (more pro-active)

「日本にFPCJあり」の存在となる (more visible)

外国メディア、日本の情報発信者双方に寄り添い、頼りにされる存在になる (more reliable)

選択と集中により事業を効率化し、バランスの取れた持続的黒字経営と、その後の躍進を目指す

03 基本戦略の6つの柱

■ FPCJはこれらのビジョンを達成するため6つの柱となる基本戦略に基づき行動します。



04 情報発信テーマ

- F P C J は、プレスブリーフィング、プレスツアー及びウェビナー等の事業を企画・立案する際、以下を主要テーマとして取り上げてまいります。



- メガトレンド（温暖化、DX、民主化、人口動態、格差問題）への日本の取組み
- G7、G20、国連主催各種サミット、ダボス会議等主要国際会議における日本の立場や、2030年SDGs達成、2050年カーボンニュートラル達成に向けた日本の取組
- 2025年大阪・関西万博
- ESG（環境・社会・ガバナンス）分野における政府・自治体や企業の取組
- 日本独自、あるいは世界をリードする科学技術分野の情報
- 世界に誇れる日本文化、自然遺産等
- 地方を中心とした埋もれた情報（観光を含む）
- その他、アンケートやモニタリングによる論調分析を通じた外国メディアのニーズを踏まえたテーマや、「旬」のテーマも取り上げる

05 中期計画・年次計画・各事業のPDCAサイクル

